



2026年1月15日

コスモエネルギーホールディングス株式会社
コスモ石油マーケティング株式会社

千葉県鎌ヶ谷市の本庁舎に公用車EVと普通充電器を導入
～再エネ電力でゼロカーボン・ドライブ実現、地域の脱炭素化を推進～

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：高山 直樹、以下「当社」）は、千葉県鎌ヶ谷市（市長：芝田 裕美）の本庁舎に、公用車として電気自動車（EV）1台と普通充電器2基を導入しました。本庁舎設備に導入済みの再生可能エネルギー100%電力を活用することで、公用車EVは走行時のCO₂排出量がゼロとなる「ゼロカーボン・ドライブ」※1を達成します。鎌ヶ谷市は今回導入されたEV充電器を市民にも開放し、地域の脱炭素化を推進します。



公用車 EV



普通充電器

鎌ヶ谷市は2023年12月から、本庁舎及び小中学校等30施設（年間使用電力量約600万kWh）に当社の再エネ電力プラン「コスモでんきビジネスグリーン」※2を導入しています。今回、本庁舎設備のキュービクル（高圧受電設備）から電気工事を行い、普通充電器を接続することでEVの充電環境を整備しました。これにより、コスモエネルギーグループのコスモエコパワー株式会社（代表取締役社長：野倉 史章）が発電する風力電源由来の再エネ電力で公用車EVの充電が可能となり、ゼロカーボン・ドライブを実現しました。この取り組みは、当社が展開する「コスモ・ゼロカーボソリューション」※3の一環として行ったものです。

鎌ヶ谷市はコスモでんきビジネスグリーンの導入により、2024年度の市の事務事業において、基準年度（2016年度）比で約46%の温室効果ガス削減を達成しています。今回設置したEV充電器を市民にも有償で開放することで、地域全体で脱炭素化の機運を高めています。

当社は今後も、自治体や企業の皆さまの環境負荷軽減を支援し、脱炭素社会の実現に向けてさまざまな取り組みを継続してまいります。



鎌ヶ谷市役所

※1：「ゼロカーボン・ドライブ」（略称：ゼロドラ）について
太陽光や風力などの再生可能エネルギーを使って発電した電力とEV、プラグインハイブリッド車(PHEV)、
燃料電池自動車(FCV)を活用した、走行時のCO2排出量がゼロのドライブを指します。
環境省ホームページ「Let's ゼロドラ！！」 https://www.env.go.jp/air/zero_carbon_drive/

※2：「コスモでんきビジネスグリーン」について
再生可能エネルギー指定の非化石証書等を使用して環境価値を付加することで、実質的にCO2排出量ゼロを実現するサービスです。お客様の年間合計販売量相当以上の非化石証書等を購入し、電気の販売にあわせて使用することで、使用電力のすべてが実質的に再生可能エネルギー由来の環境価値を持つ電気となります。
「コスモでんきビジネスグリーン」 <https://www.cosmo-denki.com/business/low/green/>

※3：「コスモ・ゼロカボソリューション」について
地域の特約店と一緒に、法人や自治体向けに再生可能エネルギーとEV等の周辺商材をワンストップで提供し、脱炭素への取り組みや電気料金の抑制等に向けてトータルサポートするサービスです。
「コスモ・ゼロカボソリューション」 <https://www.cosmo-denki.com/business/lp/solution/>

以上